

法人名 財団法人山梨県甲府・国中地域地場産業振興センター

【法人の概要】

代表者名	宮島雅展		所管部(局)課	観光部観光振興課		
所在地	甲府市東光寺3-13-25		電話番号	055-237-1641		
ホームページURL	http://www.kaiterasu.jp		E-mailアドレス	yjiba_wa@xpost.plala.or.jp		
資本金(基本財産)	30,000	千円	設立年月日	昭和59年1月10日		
主な出資者	出資順位	出資者名		出資額		出資比率
	1	山梨県		10,000	千円	33.3 %
	2	甲府市		10,039	千円	33.5 %
	3	(協)山梨県ジュエリー協会		700	千円	2.3 %
	4	山梨県宝石研磨工業協同組合		700	千円	2.3 %
	5	山梨県貴金属工芸協同組合		700	千円	2.3 %
	6	北杜市		508	千円	1.7 %
	7	甲府商工会議所		500	千円	1.7 %
	8	(社)山梨県機械電子工業会		500	千円	1.7 %
	9	山梨県家具工業協同組合		500	千円	1.7 %
	10	山梨県ニット工業組合		500	千円	1.7 %
その他	団体(者)20		5,353	千円	17.8 %	
設立経緯概況等	地場産業に関する新製品、新技術、デザインの開発や地場産業の普及促進を積極的に推進することを目的とし、ワイン、水晶、印伝など21業種にもおよぶ地場産業製品の展示施設として、昭和60年9月に開館した。					

【主要事業の概要】

主な事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H16年度	H17年度	H18年度
事業1 地場産業まつりの開催(2回)	H16年度 秋まつり 春(国補) H17年度 秋まつり 春(国補) H18年度 秋(国補) 春まつり	12,199	11,169	12,070
事業2 自主企画展の開催	新商品の紹介及び伝統の技を紹介し製品の普及及び地場産業の振興を図っている。	694	850	798
事業3 シャンデリアワインコンサートの開催	豪華なシャンデリアの下で、地元出身の音楽家の音色を聞きながら、山梨のワインの味を堪能している。	400	400	350

【組織】

	年度	平成17年度				平成18年度					平成19年度					
		職員 プロパー 員	派遣 兼務 員	県 職 員 OB	県 OB	そ の 他	職員 プロパー 員	派遣 兼務 員	県 職 員 OB	県 OB	そ の 他	職員 プロパー 員	派遣 兼務 員	県 職 員 OB	県 OB	そ の 他
4月1日現在の人員	役員															
	理事(常勤)	2			1	1	2			1	1	2			1	1
	理事(非常勤)	19		1		18	19		1		18	19		1		18
	監事(常勤)	0					0					0				
	監事(非常勤)	2		1		1	2		1		1	2		1		1
	評議員	22		2		20	22		2		20	22		2		20
計	45	0	4	1	40	45	0	4	1	40	45	0	4	1	40	
職員	管理職	1		1			1		1			1		1		
	一般職員	2	1			1	2	1			1	2	1			1
	臨時職員	4				4	4				4	3				3
	非常勤職員	2				2	2				2	2				2
	計	9	1	1	0	7	9	1	1	0	7	8	1	1	0	6
プロパー職員の年齢構成(H20.4.1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計			平均年齢	平均年収				
	男性							0	役員		61.5	(千円)				
	女性					1		1	常勤			3,715				
	合計	0	0	0	0	1	0	1	職員	※	※	(千円)				

※常勤職員は、1名であり、個人情報保護の観点から非公開

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		16年度	17年度	18年度	増減(18-17)
収 支 状 況	基本財産運用収入	420	420	420	0
	会費収入	0	0	0	0
	寄付金収入	0	0	0	0
	受託事業収入	0	0	0	0
	自主事業収入	64,115	65,930	66,466	536
	補助金収入	39,164	36,001	44,638	8,637
	その他の収入	52,331	9,152	7,838	△ 1,314
	当期収入 計 ①	156,030	111,503	119,362	7,859
	前期繰越収支差額	63,543	62,104	65,242	3,138
	収入 計 ②	219,573	173,607	184,604	10,997
	人件費	46,183	45,281	51,436	6,155
その他の支出	111,286	63,084	63,612	528	
当期支出 計 ③	157,469	108,365	115,048	6,683	
当期収支差額 ①-③	△ 1,439	3,138	4,314	1,176	
次期繰越収支差額 ②-③	62,104	65,242	69,556	4,314	

(単位:千円)

項 目		16年度	17年度	18年度	増減(18-17)
財 務 状 況	流動資産	64,550	64,315	68,735	4,420
	固定資産	1,525,855	1,502,454	1,479,688	△ 22,766
	資産 計	1,590,405	1,566,769	1,548,423	△ 18,346
	流動負債	11,718	8,346	8,452	106
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	162,187	147,409	132,108	△ 15,301
	うち長期借入金	157,719	142,418	127,116	△ 15,302
	負債 計	173,905	155,755	140,560	△ 15,195
	正味財産	1,416,500	1,411,014	1,407,863	△ 3,151
	うち基本財産等	30,000	30,000	30,000	0
うち基本財産以外の正味財産	1,386,500	1,381,014	1,377,863	△ 3,151	
うち当期正味財産増減額	△ 9,174	△ 5,486	△ 3,150	2,336	
その他積立金等	1,395,674	1,386,500	1,381,013	△ 5,487	

(単位:千円)

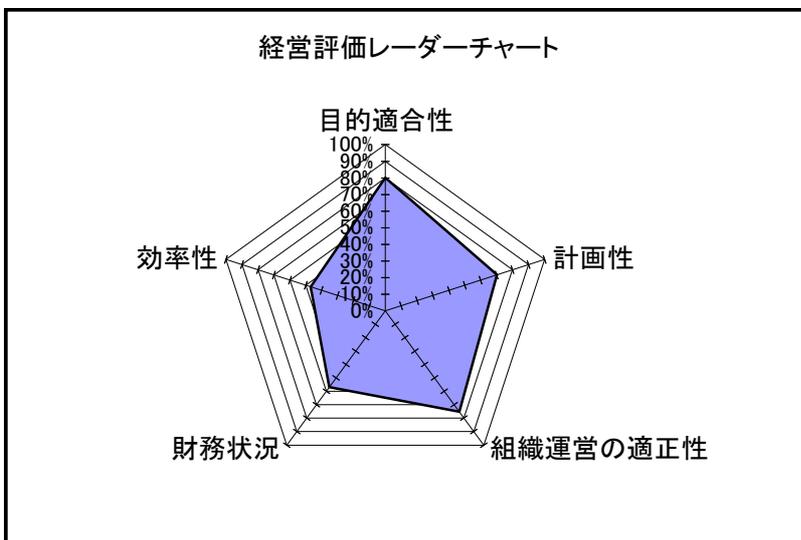
項 目		16年度	17年度	18年度	増減(18-17)
県 の 財 政 的 関 与 の 状 況	負担金	0	0	0	0
	人件費(派遣法)補助金	9,110	9,137	9,361	224
	人件費(派遣法以外)補助金	5,816	5,712	5,334	△ 378
	人件費以外の補助金	0	0	0	0
	運営費補助金	14,926	14,849	14,695	△ 154
	事業費補助金	8,626	5,291	5,689	398
	補助金 計	23,552	20,140	20,384	244
	人件費(派遣法)委託金	0	0	0	0
	人件費(派遣法以外)委託金	0	0	0	0
	人件費以外の委託金	0	0	0	0
	委託金 計	0	0	0	0
	県支出金 計	23,552	20,140	20,384	244
	県の財政的関与の割合(%)	15.1	18.1	17.1	△ 1
県貸付金残高	107,719	95,751	83,783	△ 11,968	
県債務負担実際残高	0	0	0	0	

【県の財政的関与の内容・目的】

項目	内容・目的
補助金 (運営費)	県OB、派遣職員に対する地場産業振興センターの振興費(運営費)補助金
補助金 (事業費)	地場産品展示・普及等支援事業費補助金 地場産業振興センタースプリンクラー設備設置費高度化資金の償還補助金
委託金	
債務負担行為	

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	5	20	16	80.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	5	20	14	70.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	4	16	12	75.0%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	11	44	25	56.8%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	8	32	15	46.9%
合計		33	132	82	62.1%



【警戒指標】

該当項目なし

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	人的、財政的資源が限られていることから、実施効果のある事業を優先するとともに新たに事業展開を図る。
計画性	職員による計画の達成状況の検討会を行っている。
組織運営の適正性	現在、プロパー職員は1名で、50台半ばであるため、正規職員の採用を検討していく時期にきている。
財務状況	平成17・18年度の2年間増収となったが、今後、増収傾向を維持することにより安定的な確保を目指す。
効率性	貸室の利用率は、平成15年度から毎年6割以上である。
総合的評価	平成15年度リニューアル後、入館者は減少しているが、販売額は増額となっている。今後、入館者の増員について検討し、販売額の増額に繋げていく。



対応策	次の重点目標を掲げ地場産業の振興を図る。 1センター施設の活用と運営方針の確立 2地場産業製品の需要販路開拓の推進 3入館者増加対策・貸室等施設利用の向上 4山梨県地場産業協同組合との連携強化 5地場産業と観光の拠点施設としての活動強化 6地域住民とのコミュニティーづくり
-----	--

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	地場産品新作見本市、地場産業祭りの開催やジュエリーデザインコンテスト入賞作品の企画展示、国産ワインコンクール上位入賞ワインの紹介展示及びシャンデリアワインコンサートの実施など、地場産業支援のための事業を積極的に実施している。
計画性	計画に沿った運営が行われており、入館者の増加につなげるための新たな事業展開も検討している。
組織運営の適正性	適正に組織運営が行われている。プロパーの正規職員が1名で、50代半ばであるため、適正な職員構成の確保のため、その採用を検討する時期にある。
財務状況	自主事業収入は、少しずつではあるが、増加傾向にある。県の財政的関与を比較的低い割合に抑えることができている。
効率性	貸室の利用率は高い水準を維持している。入館者数が減少傾向にあることから、さらに効果的な地場産業の支援策の検討が必要である。
総合的評価	大きな地場産業の紹介イベントを年2回、開催しているほか、年間を通して様々な企画展を実施し、地場産品のPRに努力している。また、英語・中国語・韓国語表記の施設紹介パンフレット、施設周辺の観光案内マップの作成や定期路線バスの立ち寄りの確保など、施設への集客とサービス向上にも努めている。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営評価アドバイザーによる総合評価)

今後更なる改善、見直しを行うべき視点	
総合的所見	
※ランク下の%は得点率による概ねの目安であるが、総合的に評価するため、得点率と必ずしも一致しない	<p>・県内の地場産業や地場産業製品を広くPRする場であり、観光の拠点施設にもなっている「かいてらす」の管理運営を行う法人であり、集客力向上のため、魅力アップに向けた不断の取組が必要である。</p> <p>・3期連続して当期正味財産増減額(損益計算書でいう当期損益)で赤字を計上しているため、財務状況の評価が低くなっている。固定資産の減価償却が多額となっていることが大きな要因ではあるが、評価の低い効率性の改善と併せ、徹底した管理経費の削減など、さらなる経営努力が求められる。</p> <p>・また、経営は県及び甲府市からの派遣職員・OB職員に依存しており、県や市の関与のあり方、組織体制についても検討する必要がある。</p>



【総合所見等に対する今後の対応方針】

地場産業センターの魅力を高め、集客力の向上を図っていくとともに、より効率的な運営や組織のあり方について引き続き関係機関・団体で構成する活性化会議において協議を行っていく。

(主な内容)

- ・公益法人制度改正に併せ、販売協同組合とのあり方を含め組織体制・要員等について調査・検討を進める。
- ・販路開拓を行うため、POSシステムを活用し、販売情報を分析のうえ地場産品生産業者へフィードバックするシステムなどの調査・研究を行い、集客・販売力の強化につなげる。
- ・業務の外部委託等についての調査研究など具体的な経費削減の手法について検討を進める。
- ・周辺観光マップを活用した周辺施設との連携強化や魅力あるイベントの開催による集客力の向上を図る。

また、財務状況の健全化のため、貸し室の利用率向上や光熱水費の削減を、更に継続して行っていく。